

「地域未来構想20 オープンラボ」コーディネーター応募フォーム

内閣府地方創生推進室

回答者へのメッセージ

「地域未来構想20 オープンラボ」のワークショップにおいて、自治体と専門家の意見交換の仲介役を担うコーディネーターを募集いたします。コーディネーターは、意見交換の土台となる事業構想を紹介するほか、自治体と専門家の発表内容に対する提案・質問をすることが期待されています。コーディネーターとして参加することを希望される場合は、以下のフォームに紹介する事業構想等を入力の上、ご応募ください。（詳細は募集要項をご確認ください。）

必要事項を記入後、[内容確認画面へ進む]ボタンをクリックしてください。

- 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。あらかじめ御承知ください。（詳細は「置き換え規則について」を御覧ください。）

1. 内容入力

2. 確認

3. 完了

提案者情報

組織名 ※必須	株式会社 ○○ 残り文字数93
担当者名 ※必須	○○ ○○ 残り文字数45
電話番号（半角のみ） ※必須	00-0000-0000 例：000-000-0000 残り文字数8
メールアドレス（半角のみ） ※必須	info@xxx.co.jp 残り文字数36

ワークショップ提案内容

関連する政策分野 ※必須	<ul style="list-style-type: none">○ 4. [行政IT化]行政手続の徹底したオンライン化・電子処理化、ネット発信の強化○ 9. [教育]GIGAスクール構想の更なる加速・強化等による新たな時代に相応しい教育の実現○ 10. [医療]オンライン診療・オンライン服薬指導を行うための支援○ 13. [リビングシフト]都市と地域の両方の良さを活かして働く・楽しむスタイルの開拓○ 15. [強い農林水産]強い農林水産業及び食料産業の実現に向けた新たな投資促進・労働力確保● 18. [新たな旅行]「新しいスタイル」実現のため、宿泊、飲食、輸送等のトータルな環境整備や新たなビジネス展開の促進
-----------------	--

上記テーマに関して、どのような事業構想を紹介しますが。
※必須

オンラインとオフラインを組み合わせる農泊体験の構想を紹介予定。オンラインで参加者と農家をつなぎ、例えば、郷土料理の共同調理や地域特有の遊びなどをする事で、田舎暮らしを体験してもらう。オフラインでは、例えば、自然を堪能できるアクティビティや地域住民との交流などを用意し、オンラインとオフラインの特徴を生かして企画の棲み分けを図る。また、オンライン参加者同士、又は、オンライン参加者とオフライン参加者のコミュニティをつくり、体験を共有することでリピーターの創出につなげる。オンラインで実施することにより往来自粛中でも継続できることや、オンラインで事前交流することにより、オフラインで実際に訪問する際の安心感や充実感が高まることなどが期待される。同様の取組は○○県××市で実際に行われている。

- ・ 事業により解決する地域課題や期待される効果 など
- ・ 具体的な事例も併せて紹介する場合は、その事例

残り文字数651

<p>上記テーマに関して、組織としてどのような強みを有しますか。</p> <p>※必須</p>	<p>西日本各地で農泊体験の企画の実績があり、上記〇〇県××市の取組を実施する際にも、××市の委託事業を受けて、オンラインで農泊体験をする際のコンテンツを提案するほか、□□旅行会社と連携して農泊体験を広く都市部の若者に周知。詳細は別途メールの添付資料を参照。</p> <p>残り文字数874</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記テーマに関して自治体に対する助言・民間企業等とのコーディネートを行う上での強み ・ 上記事業構想に関する実績(自治体名や概要、参考資料の添付も可)
<p>選択した事業構想の実現には、どのような主体の参画が必要だと考えますか。</p> <p>※必須</p>	<p>オンラインで参加できるようにすることで、通常の農泊体験より関心を持つ層が広がるのが想定されるため、都市部の若者に広く周知できるメディアをパートナーにすることが重要である。また、オンラインで実施する際に、機材の設定や操作等について農家の方をサポートできる現地での協力体制が鍵となるため、地域運営組織のような既存団体があることが望ましい。</p> <p>残り文字数831</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内外のキープレイヤーとその役割分担 など
<p>参加する自治体と専門家の相互理解を深めるため、セッションをどのように進める予定ですか。</p> <p>※必須</p>	<p>農泊体験を通じて、地域のどのような魅力を伝えたいのかを整理することで、必要となる民間パートナーが見えてくると考えるため、自治体に対しては、PRポイントやターゲット層を理解するための質問をする予定。専門家に対しては、これまでの実績やその際の活動内容等に関する質問をすることで、実際連携する際のイメージの具体化を図る予定。なるべく発表者同士が質問する時間を長くすることで、今後のマッチングに向けた理解を促進する。</p> <p>残り文字数796</p>	
<p>同じセッションにおいて、どのような自治体・専門家からの発表を希望しますか。</p> <p>※必須</p>	<p>□□県▽▽町には、発表することについて了承をもらっている。事務局で割り当てていただく自治体は、▽▽町と同等の人口規模で農泊に力を入れている自治体が望ましい。専門家は、都市部の若者への訴求力がアルメディアやオンラインでのコミュニティ形成の実績がある専門家が望ましい。</p> <p>残り文字数868</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表者として自ら調整済の自治体・専門家 ・ 事務局で割り当てる自治体・専門家に求める地域特性や発表内容 など
<p>対応可能な日程</p> <p>※必須</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 3月12日(金) 14:30~17:00 <input type="checkbox"/> 3月16日(火) 14:30~17:00 <input checked="" type="checkbox"/> 3月19日(金) 14:30~17:00</p>	

※その他の資料等がある方は、e.rinji-portal.a6b@cao.go.jp あてメールで提出をお願いします。

 入力内容をパソコンに保存する

内容確認画面へ進む >

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

[このページの先頭へ](#) 